

## オンライン講座「歴史から学ぶ女性の人権」アンケート結果

主事5年以上、主査1年以上40歳以下職員 計19人（女6人・男15人・男女1人、無記入2人）  
文面はそのまま記入しています。

### 1 今回のテーマと同様のセミナーを受講したことはありますか？

- ・ある 1回→1人 2回→2人
- ・ない 21人

### 2 今回、受講して感じたことはありますか？（例えば、初めて知ったこと、意識が変わったことなど） （女性）

- ・水俣にゆかりのある人々が、女性の人権を守るために力を注いでこられた歴史を知り感動しました。
- ・蘇峰にそのような一面があったことは知らなかった。
- ・従来の判例を破る画期的なものとして、注目された事件が水俣で起っていたことを初めて知りました。
- ・女性の歴史、売買問題について、同じ女性として改めてショックを受けつつとも勉強になりました。
- ・日本や世界での差別について初めて知りました。私自身も、家族で気付かないうちに女だから、ご飯を作るのが当たり前など、特に気にもしていなかったことですが、差別していたなと反省しています。1人ひとりが小さいことに気付くことが大事だと思いました。

（男性）

- ・日本の男女格差について、世界と比べて低いことは漠然と感じておりましたが、改めて順位を見て日本の低さに衝撃を受けました。
- ・徳富蘇峰の功績
- ・蘇峰氏が強い人権意識をもって活動していたことを知らなかった。改めて尊敬できる人物だと感じた。
- ・歴史的背景等は知っていたが、改めて考えることができた。
- ・徳富蘇峰が廃娼運動に関わっていたことを初めて知りました。
- ・日本が世界中で男女格差が激しい方であること。
- ・女性差別の歴史の根深さを改めて感じた。
- ・知らないことが多かったです。
- ・徳富蘇峰が女性の人権運動に取り組んでいたこと。現在においても人身売買が行われていること。日本が120位。
- ・今でも人身売買が行われていることは初めて知った。
- ・水俣の知らなかった歴史。120問題は驚きました。福沢諭吉さんや徳富蘇峰さんの別の側面を教えてくださいました。

（性別無記入）

- ・女性人権の歴史については、初めて受講した。
- ・120問題は思っていなかったので驚きました。慣れてしまって男女格差に気づかないのかなと思いました。格差とは何か考える深い問題ですね。男性だから、女性だから、という考えをなくさないといけないと思いました。

### 3 受講して気づきがありましたか？

(女性)

- ・アンコンシャスバイヤス、自分が無意識のうちに感じてしまっている男女差別に関する意識に気付くことが大切だと思いました。
- ・女性が活躍できる社会を作るためには、まずこれまでの歴史を学び、きちんとした知識を身につける必要があると改めて感じました。
- ・社会的役割等で男女の格差が平等になるように考えていきたいと思いましたが、生物として身体機能として男女の性差はあると思いますので、何を以て平等というのか考えて行動していきたいと思いました。
- ・女性、男性、全ての方の人権を尊重したい。

(男性)

- ・現在でも問題になる女性の人権問題について、改めて歴史の積み重ねの結果であるということがわかりました。
- ・無意識のうちに考えていたことがあることに気付いた。
- ・アンコンシャスバイヤス身近なところでも感じることもあり、無意識に起るものと聞いたが、娼妓の過去の歴史を見ても、そういう部分が根底にあるのではないかと思った。
- ・年配の男性に集中的に受講させるべきだと感じた。
- ・廃娼運動等について、ほとんど知識がないことに気づかされました。
- ・現在の日本による男女格差についても世界と比べひどいものであることを再認識した。
- ・男女に限らず、性別の垣根を越えて協力することが大切だと感じた。
- ・日頃から男女で区別なく過ごしていると思っていたが、アンコンシャスバイヤスの例であったように無意識下で、女性だから～、男性だから～と役割を分けたりということがあのように思いました。
- ・意識のないところで差別を行っている可能性があることは恐ろしいことだと思いました。自分の言動を見直すよい機会になりました。
- ・日本は男女の格差はない方だと思っていたが、世界の中で、とても低い方だったのに驚いた。
- ・無意識のうちに人権侵害をしているかも。アンコンシャスバイヤス。

#### 4 今後、プライベートや仕事にどう生かそうと思いますか？

(女性)

- ・普段の生活で意識して固定観念があることに気が付いていきたい。
- ・まずは今回のセミナーで学んだことを家族や友人に話したいと思います。

(男性)

- ・テレビや SNS での有名人により女性軽視発言が話題になり、内容を見る度に「なぜ、そんなことを言うのだろうか。問題になることがわからないのだろうか」と思っています。しかし、講話の最後の方にありました「アンコンシャスバイヤス」を聞いて「発言した人にとっては、無意識的であり問題とされていないのでは」と想像したところ、これは自分にもあてはまることではないかと感じました。福祉課長の発言された、今からでも、今日からでもできることをして、「アンコンシャスバイヤス」を意識しつつ、改めて自分では問題とされていないが、周りの人から見ると問題であること、また不快にとらえられることがないか気をつけたいと感じました。

- 身近な日常生活でも、男女問わず人権を意識していきたい。
- 自分にも無意識の偏見を持っている部分があるかもしれないので、今日、受講したことを忘れずに生活していけたらと思いました。
- 相手の性別や年齢等に関係なく、対等に接することが大切だと思う。
- アンコンシャスバイアスのような考え方をしむこともあり、そのような考え方をなくすよう心がけたいと思います。
- 「女性だから」などという言動をなくしていけたらと思う。
- 無意識の偏った見方をしないように注意しようと思いました。
- 男女関係なく、一個人として、誰とでも平均的対応を行おうと思います。
- 女性はもちろんですが、様々な事情を抱えた職員全てが働きやすい職場環境になればよいなと思いました。
- 国レベルで見て低い順位だったので、個人としても、もしかしたら自分で思っているよりも格差が生まれるようなことをしているかもしれないので意識をしようと思った。
- エンパワー力を高めて行きたいと思います。

## 5 今回の講座を自分以外には、どなたに受講してもらいたいと思いますか？

同僚：7人 / 上司：7人 / 家族：4人 / 友人：3人 / 学生：6人 / その他（高齢者特に男性、すべての人）

## 6 その他（自由記入）

（男性）

- 高齢者特に男性に受講してもらいたい理由として、特に女性に対する差別が多いと身近に感じることもある。まさにアンコンシャスバイアスだと思いました。120問題が納得できました。
- 大変勉強になりました。
- 仕事をしていると、子どもが病気の時など、やはり女性が仕事を休んで対応する機会が多いように思う。家庭での家事は平等に行っているつもりだが、仕事となると、そのような意識が働くのは、職場内においてもアンコンシャスバイアスがあるように思う。こういった研修は組織のトップ、人事管理、管理職の方にも聞いて欲しいように思います。
- 本日は貴重なお話ありがとうございました。

（女性）

- ありがとうございました。

（性別無記入）

- 女性を取り巻く環境等により、苦難となるケースは多く、社会的問題だと思う。女性の社会的進出向上と、市職として身近な女性問題には気をつけなければならない。一方で、社会のジェンダーフリーが叫ばれているが、様々な女性問題がクローズアップされる一方で、男性に関する問題はクローズアップされないと感じる。職員の業務として研修するならば、男性に関する問題も取り上げるべきではないか。女性に関する研修ばかりで、男性側の苦難が女性側に理解されず、男性が生きづらい社会になっているのではないかと感じることもある。